

計画改定の進め方及び 現計画の効果検証・評価手法(案)

**令和6年度第1回
さいたまはーと推進協議会**

1 次期計画改定の進め方〔検証方法（案）〕

①改定作業の事前準備

計画目標の評価・分析手法（案）の作成

市民アンケート調査（案）の作成

②現状・課題の整理

1) 自転車利用に関する 情報・データの収集・整理

- ・ 市民アンケート調査の実施
（自転車利用状況・満足度、ニーズ等把握）
- ・ さいたま市の特徴整理（地理、人口構成や推移）
- ・ 国・県の関連法令・条例・計画の整理
- ・ 市の関連条例・計画の整理

（主に整合を図ることが目的）

- ・ 自転車利用環境の変化
 - ・ 全国的な自転車関連行政の動向
（例：国や世界の脱炭素化の推進状況や
自転車施策のトレンドなど）
- ・ 自転車利用状況等のデータ
- ・ 先進事例等の把握

2) 現計画の評価・分析

目 標
（事故件数、自転車利用者数※、市民満足度）

確認・評価、 要因分析

方 策
（活動指標）

確認・評価 （R5年度までの毎年の確認結果の積み上げ）、要因分析

3) 課題の整理

さいたま市の自転車政策における課題整理

③将来像の検証

変更の必要性検証・修正案作成

協議会での意見徴収

④目標の検証

変更の必要性検証・修正案作成

協議会での意見徴収

・・・目標と方策のたたき台提示想定

⑤方策の検証

継続・拡大・統合・新規等検討

協議会での意見徴収

1 次期計画改定の進め方〔検証方法（案）〕

①改定作業の事前準備

計画目標の評価・分析手法（案）の作成

市民アンケート調査（案）の作成

②現状・課題の整理

1) 自転車利用に関する 情報・データの収集・整理

- ・ 市民アンケート調査の実施
（自転車利用状況・満足度、ニーズ等把握）
- ・ さいたま市の特徴整理（地理、人口構成や推移）
- ・ 国・県の関連法令・条例・計画の整理
- ・ 市の関連条例・計画の整理

（主に整合を図ることが目的）

・ 自転車利用環境の変化

- ・ 全国的な自転車関連行政の動向
（例：国や世界の脱炭素化の推進状況や
自転車施策のトレンドなど）
- ・ 自転車利用状況等のデータ
- ・ 先進事例等の把握

2) 現計画の評価・分析

目 標
（事故件数、自転車利用者数※、市民満足度）

確認・評価、 要因分析

方 策
（活動指標）

確認・評価 （R5年度までの毎年の確認結果の積み上げ）、要因分析

3) 課題の整理

さいたま市の自転車政策における課題整理

③将来像の検証

変更の必要性検証・修正案作成

協議会での意見徴収

④目標の検証

変更の必要性検証・修正案作成

協議会での意見徴収

・・・目標と方策のたたき台提示想定

⑤方策の検証

継続・拡大・統合・新規等検討

協議会での意見徴収

1 次期計画改定の進め方〔検証方法（案）〕

参考：現計画構成における今回議事の該当箇所

第1章 計画策定の趣旨

第2章 自転車利用の現状と課題

- ・自転車利用の魅力
- ・社会的な動向の変化
- ・さいたま市の自転車に関する地域資源の状況

・さいたま市の自転車利用の現状

・現状と課題のとりまとめ

第3章 計画の将来像と目標

・将来像

・目標（成果指標）

第4章 施策の体系

第5章 施策の展開内容

第6章 計画の推進方法

市民アンケート調査

現計画の評価・分析手法(案)

方策の活動指標の確認・評価はR5年度までの毎年の確認結果の積み上げにより実施

2 現計画の評価・分析手法(案)

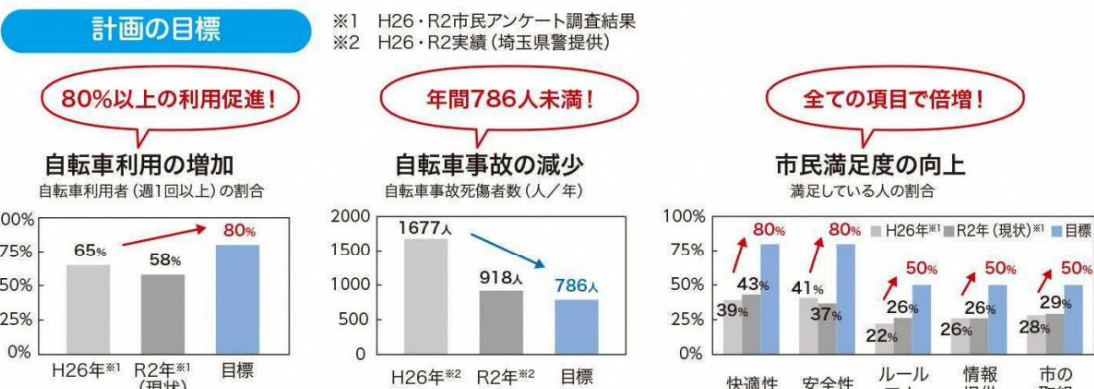
2 現計画の評価・分析手法（案）

現計画構成と評価・分析の関係性

計画の将来像

人と環境にやさしい 安全で元気な自転車のまち さいたま

～健康増進など「元気な暮らしを支える体力づくり」
～環境負荷の軽減など「快適を未来につなげるまちづくり」
～誰もがルールとマナーを守る「思いやりのある人づくり」
～自転車で走り、楽しさや喜びなど「風を感じる空間づくり」



計画の柱

「たのしむ」
自転車を活用して
余暇を充実させる取組
国際サイクルレース
レクリエーションルート

「まもる」
自転車の正しい利用の仕方
を身に付けてもらう取組
交通安全教室
自転車注意喚起看板

「はしる」
自転車通行環境や快適な
利用を推進するための取組
ネットワーク整備
サイクルサポート施設

「とめる」
自転車駐輪環境を
充実させる取組
駐輪場整備
放置自転車対策

現計画の 評価・分析

目 標
（3 項目）

市民アンケート結果及び
事故統計データにて確認

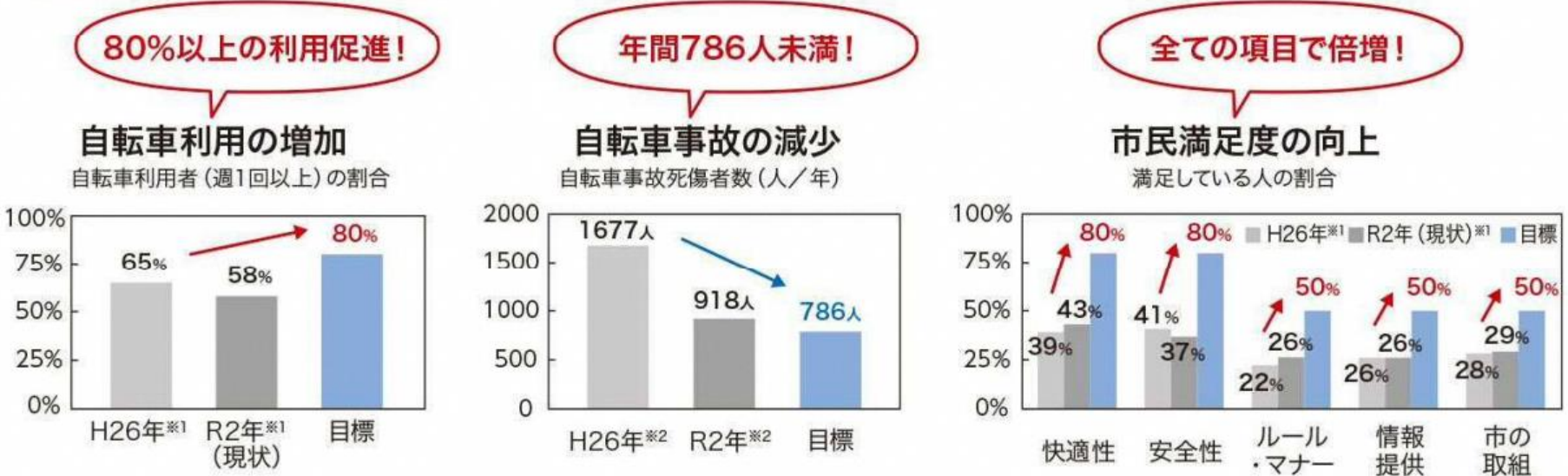
方 策
（各方策の活動
指標）

毎年の確認結果
の積み上げ

2 現計画の評価・分析手法（案）

目標の確認・評価方法について

【評価指標】



【評価方法】

- ・ 市民アンケート調査結果、事故統計データを用いて
上記3指標を満たしているか判断し、3段階で評価

【評価基準（計画全体）】

- A評価：目標を上回って達成（110%以上）
 - B評価：目標をおおむね達成（90%～110%未満）
 - C評価：目標を未達成（90%未満）
- C評価の場合は以下を確認
- ・ 基準年からの指標の推移
 - ・ 目標（目標値・項目等）の妥当性

<参考：改定程度の想定（現状・課題踏まえて最終的に判断）>

- 現計画をベースにマイナーチェンジ程度の改定を想定
- 目標・施策・計画構成などを大きく見直す等 の対応を検討

【論点】

- ①次期計画改定の具体的な進め方[検証方法（案）]について
抜けている手順や情報等についてご意見いただきたい。
- ②目標の評価基準について
評価基準（案）について問題ないかご意見いただきたい。
- ③計画構成について
現計画構成から追加すべき項目等のアイデアがあればご意見いただきたい。